仰木中学校　校内・地域通信　『つなぐ』～人と人・学び・育ち・社会・未来～

仰木中学校だより

仰木野 桜丸

令和６年４月１５日発行
第１号
生徒数　５５２名
ＨＰ版

『怨（じょ）』の心をもって

人の考え方や気持ちを察して尊重する「思いやり」の心をもって、みんなが安心して生活できる仰木中学校にしよう

４月８日、**令和6年度1学期の始業式**を体育館で行いました。ひとつ上の学年に進級し、学年・学級も変わり、一人ひとりが気持ちも新たに新学期をスタートさせました。この日、午後に行われる入学式準備を行う2，3年生の自覚みなぎる素晴らしい態度、心を込めて掃除や飾り付けや会場づくりをする様子は、とても温かで頼もしく思いました。（以下は、始業式の式辞の一部）

（前略）今日は、新しい学期、学年のスタートにあたり、皆さんには、最初に**「おもいやり」**と**「ゆるす」心**についての話をしたいと思います。

紀元前 6 世紀ごろ、中国に生まれた**「孔子」**という人の話です。孔子は、社会や人生などについて、「A はどうあるべきか」、「A は B であるべきだ」などの深い思想を展開した人で、この孔子が打ち立てた思想がもととなって、その後弟子たちによって深められていった学問が、**「儒教」**といわれているものです。**「論語」**という書物は、孔子が亡くなってからあと、彼の弟子たちが、**「人として生きていくうえでの孔子の考えや規範」**をまとめたものです。その中に、こんな話があります。

ある時、弟子の**子貢**（しこう）という人が、孔子に聞きました。すると**孔子**は、

「先生、たった一言で、“一生それを守っておけば、間違いない人生が送れる”というそういう言葉はありますか？」

「それはまず、怨（じょ）**だろうな。自分が人からされたくないことは、人にもしてはならないということだよ。」**と答えました。

「怨」とは、**どんなことでも、いつも相手の身になって考えるやさしさや思いやり、いつも相手を思う、いたわりの心**のことです。**相手のことなどおかまいなく、自分さえよければいいなどということは絶対にしないこと、自分の嬉しい事を他人にも施し、自分が嫌なことは他人にしないこと**、それが**「怨」**であり、孔子は、これが大事だと弟子に言ったのです。（中略）

また、この**「怨」**という字は、**怨る**（おもいやる）という読み方があったり、**怨す**（ゆるす）という読み方があったりしますが、この漢字は、「おもいやる」「ゆるす」という意味だけでなく、**「相手の心情をおしはかり、心をくばる」「大目にみる」「むやみにとがめることなく寛大に扱う」**という意味でも使われています。

皆さんは、人を許せないとか、その人が自分に対して行った言動や行動が許せない、と思ったりしたことはありませんか？

また、自分の行った言動や失敗した行動について後悔し、自分を許せなくなったりしたことも、ありませんか？
そんな時は、自分はもうダメだと落ち込み、ふさぎ込んでしまう人も、少なくないのではないでしょうか。

しかし、他人の間違いを責めて、その人を恨んだり憎んだりすると、心が落ち着かず、苦しくなってくるだけでなく、体調も悪くなってきます。また、他人より自分を責め続けてしまうというのも、つらいことです。こういう時は、この「怨」の心が必要になります。

人間は完璧にはいきません。人生には試行錯誤がつきものです。失敗をしては、他人に迷惑をかけ、お互いに悲しみや苦しみを味わったりしながら生きています。（中略）経験不足や判断ミス、固定観念などによって、間違ったり、失敗したりしてしまうことは、誰しもあることです。もし、**間違いに気づいて、悔やんで反省している人がいたら、あるいは、自分が反省できたのなら、「怨」の心をもって、ゆるしてあげましょう。怨す**（ゆるす）**のは、相手のためではなく、自分のための行為でもある**のです。

人それぞれに生きてきた歴史があって、考え方も様々です。**いろんな人の考えに接して、そして、その違いを攻撃するのではなく、理解しようとする大らかさと、人の考え方や気持ちを察して尊重する思いやりの心、「怨」の心をもって、仰木中のみんなが、安心して生活できるようにしていってほしい**と思います。（後略）

この話に加えて、今年度は、**校長から各学級へ**、この１年間で達成してほしい**3つの課題**を出しました。

“心理的安全性“の高い学級づくりを

❶ 違う考えや反対意見を言っても聴いてくれる。話せば理解してくれるから大丈夫という安心感が前提にある。
一番言いにくいことが、一番言いにくい人に言える。本当の思いを伝えやすく **話しやすさ**のある学級をつくる。

❷ 困ったときはお互い様。失敗しても間違っても、誰も責めたり、笑ったりしない **助け合える**学級をつくる。
助け合えるからこそ、失敗を恐れず「とにかくやってみよう」と思える **挑戦できる**学級をつくる。

❸ 「違い」から学ぶことは「同じ」から学ぶことより多く、大きい。多様性が認められ、一人一人の
頑張りや優しさを互いに言葉にして伝え合える **互いに認め合える**学級をつくる。

■**保護者の皆様**、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。教職員一同、心よりお慶び申し上げます。
保護者の皆様と私たち教職員は、立場は違いますが、子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは同じです。
式辞でも申し上げましたが、どんな場合にも、子どもを中心にすえて、学校と家庭が同じ方向を向いて、子どもの健全な成長を見守り支える「仲間」として連携していけますよう、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

■**地域や関係機関の皆様**、平素より、本校の教育推進のために、また、子どもたちの安全・安心や健全育成に関しまして、多大なご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。本校は、皆様に守られ、支えられて、31年目を迎えます。
子どもたちのために学校教育や子育てをご支援くださっている皆様へ感謝の気持ちを持ちながら、これからも皆様とのつながりを大切にし、子どもたちの成長を支えるべく、日々の教育活動を進めていく決意でおります。
ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

■**仰木中学校　学校教育目標**、**めざす生徒像**、**本年度の重点目標**は、以下の通りです。
保護者ならびに地域の皆様にもご承知おきいただき、本年度も本校教育を見守っていただきますようお願いいたします。

仰木中学校　教育目標

心豊かで主体的・意欲的に活動する生徒の育成
～生き生きとした明るい学校の創造～

めざす生徒像

- **身につける**　確かな学力を身につけ、積極的に行動する生徒
- **認め合う**　豊かな心を持ち、互いに認め合い励まし合う生徒
- **やり抜く**　健やかな体を培い、たくましく、何事もやり抜く生徒

本年度の重点目標

キーワード　**『つなぐ』**

- **人と人**をつなぐ　…　安心感と信頼関係を大切に　命と人権を守る
- **学び**をつなぐ　…　知的好奇心の刺激
- **育ち**をつなぐ　…　成長を促す指導　自立につながる支援
- **社会**とつなぐ　…　つながり、支え合う地域共生社会の担い手に
- **未来**へつなぐ　…　今を大切に生き、今を積み重ねる

第31回　入学式　新入生代表宣誓

「未来を拓く学び舎で、仲間とともに」

（前略）一度しかない中学校生活を悔いなく、「もう一度中学生になりたい」と思えるようなものにするため、今、何をやるべきなのかを考え、中学生としての責任と自覚をもち、学校生活に全力で取り組んでいこうと思います。
（中略）仰木中学校の校歌には、「未来を拓く　学び舎は」という歌詞があります。私たち新入生一同は、それぞれの夢や目標に向かって、先輩方が築き上げてこられた仰木中学校の歴史と伝統に恥じることなく、この学び舎で、仲間とともに未来への道を切り開いていきながら実りある中学校生活が遅れるように、精一杯努力することを、ここに誓います。
（後略）

▼4月8日、201名の新入生を迎えました。大変大きな返事で起立する立ち振る舞いや、引き締まった表情から、中学校生活への意気込みがよく伝わってきました。▼仰木中のシンボル、「大王松」のように堂々としていて、勇敢で、何事にも目標をもち、その目標に向かって、折れずに粘り強く努力をし続けられる生徒であってほしいと思います。

令和６年度　教職員紹介

校長 教頭 養護教諭 こころとからだの先生 事務 用務 初任者研修拠点校指導教員 （志賀中所属） 部活動指導員（ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ） スクールサポートスタッフ スクールカウンセラー ALT	1年学年主任 1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 7B 組 8A 組　（3年所属） 学年所属 学年所属 学年所属 子ども支援コーディネーター 初任者研修後補充	2年学年主任 2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 7A 組 8A 組　（3年所属） 8B 組 学年所属 教務主任 スペシャルサポートルーム（SSR）加配／教育相談／SC 担当　響 初任者研修後補充	3年学年主任 3-1 3-2 3-3 3-4 3-5 7B 組　（1年所属） 8A 組 数学少人数指導 進路指導主事 学年所属 学年所属 生徒指導主事 初任者研修後補充
	特別支援学級多人数アシスタント 学校生活支援員	2名 **2名（内1名未定）**	